

| | | 1994年度 | 1993年度までの累計 |
|------------------|----------------|----------------|-------------|
| ODA実績 | 無償資金協力 (億円) | 0.48 | 5.18 |
| | 技術協力 (億円) | 19.50 | 155.36 |
| | 政府貸付金等 (億円) | -11.15 | 3,123.58 |
| JICA技術協力実績 | 技術協力経費 (億円) | 20.49 | 155.36 |
| | 研修員受入 (人) | 112(新規)+12(継続) | 1,434 |
| | 専門家派遣 (人) | 51(新規)+27(継続) | 330 |
| | 調査団派遣 (人) | 88(新規)+0(継続) | 878 |
| | 協力隊派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 単独機材供与 (100万円) | 84.36 | 471 |
| | 開発調査 (件) | 6 | 20 |
| プロジェクト方式技術協力 (件) | 4 | 3 | |

| | |
|--------|--------|
| 無償資金協力 | 0.48 |
| 技術協力 | 19.50 |
| 政府貸付金等 | -11.15 |

わが国の対トルコODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円 政府貸付金等は供与額からその年の返済分を引いたもの)

● 計画・行政分野 ●

機材供与事業

| 案 件 名 | 数量 | 経費(千円) (支出済み額) | 供 与 先 | 供与形態 | 関連事業 |
|-----------|----|-------------------|-----------|--------|-------|
| 道路環境測定用機材 | 一式 | 73,130 | 公共事業省道路総局 | 一般単独機材 | 専門家派遣 |

● 公共・公益分野 ●

機材供与事業

| 案 件 名 | 数量 | 経費(千円) (支出済み額) | 供 与 先 | 供与形態 | 関連事業 |
|--------------|----|-------------------|-----------------|--------|-------|
| 水質等環境調査測定用機材 | 一式 | 11,227 | エネルギー天然資源省電力調査庁 | 一般単独機材 | 専門家派遣 |

プロジェクト方式技術協力事業

| プロジェクト名 期 間 | 各種チームの派遣 | | 人 数 ・ 経 費 実 績 | | | |
|--|----------|-------|----------------|--------------|-------------------|----------|
| | 年度 | 形 態 | | 専門家派遣 (人) | カウンターパ ート受入(人) | 機材供与(千円) |
| 地震防災研究センター (当初R/D協力期間) 93.4.1～98.3.31 | 91 | 事前調査 | 93年度までの 累 計 | 9 | 3 | 7,407 |
| | 92 | 長期調査 | | 94年度 | 新規 13 | 4 |
| | 92 | 実施協議 | 継続 2 | | | |
| | 94 | 計画打合せ | | | | |
| <p><要請背景></p> <p>トルコは地理的に地震ベルト地帯に位置しており、20世紀には50回以上の大規模地震があり、多くの生命と財産が失われた。特に、トルコ東部地方では住宅の構造が貧弱なため中規模程度の地震によっても建物が倒壊し多くの人命が失われており、耐久構造の研究および地震発生後の正確な被害状況把握のためのシステム確立が急務となっている。</p> <p><目標と期待される成果></p> <p>トルコ東部の地震災害の軽減を目標として、地震防災センター内に強震観測網実験サブセンターおよび地震工学サブセンターを設立し、トルコ東部を対象とした地震防災情報観測網実験システムの開発と東部農村住宅の耐震性工場技術の開発を目的とする。</p> <p><協力活動内容></p> <p>地震観測網実験サブセンターにおいて地震活動情報入手および被害推定・予測などのための観測・研究を行う。地震工学サブセンターにおいて住宅・建造物の動力学的特性・耐震性研究を行う。</p> | | | | | | |
| 港湾水理研究センター (当初R/D協力期間) 95.1.1～99.12.31 | | | 93年度までの 累 計 | 0 | 0 | 0 |
| | 93 | 事前調査 | 94年度 | 新規 3 | 1 | 3,848 |
| | 93 | 長期調査 | | | | |
| | 94 | 実施協議 | | | | |
| <p><要請背景></p> <p>トルコでは、近年の経済成長に伴い、輸出入貨物量は年々増大の傾向にあるが、多くの港湾が旧式化しており、新規港湾の建設や既存港の改良を積極的に進めていく必要がある。港湾構造物の設計にあたっては、模型実験、数値解析等を用いて、これら構造物の海洋自然条件に対する耐性を確保することが不可欠であるが、港湾建設を所管する運輸・通信省鉄道港湾空港総局(DLH)は独自の実験施設を有していないため、実験を外注して補っているものの、港湾プロジェクトの2～3割程度はこれらの実験が行われないまま設計されており、一部の港湾施設に被害が出る結果となっている。</p> <p>このため、トルコ政府はDLHが直接これらの実験を行えるよう港湾水理研究センターの設立を計画し、わが国にプロジェクト方式技術協力を要請したものである。</p> <p><目標と期待される成果></p> <p>トルコに港湾水理研究センターを設立し、わが国からの技術移転により、水理模型実験、数値解析等の手法を用いた港湾構造物の設計技術の向上を図る。</p> <p><協力活動内容></p> <p>現地観測データと実験用プールにおける水理模型実験の結果をあわせて解析し、現地の海洋自然条件に耐え得る港湾構造物を設計する技術の向上を図る。</p> | | | | | | |

開発調査事業

| プロジェクト名 | 概 要 | 相手国の調査団受入先 | 調査業務受注企業名 |
|------------------|---|-------------|-----------------------------------|
| 国道橋梁の維持補修とリハビリ計画 | トルコ政府の要請に基づき、同国道橋梁を対象として老朽橋梁の補修実行計画を策定し、あわせて橋梁維持・補修・点検・評価マニュアルを作成するものである。1994年度は、事前調査を行い実施細則を締結し、本格調査を開始して着手報告書を作成した。 | 公共事業省道路総局 | ㈱オリエンタル・コンサルタンツ 日本海外コンサルタンツ(株) |
| セイハン川洪水予警報システム計画 | トルコ南西部アダナ市中央を流れるセイハン川流域において、洪水予警報システム計画を策定する。1994年度は、93年度に実施した現地調査結果に基づき、国内において洪水流出解析、施設操作ルールの確立、データ処理計画・データ伝達計画の策定を行い、それらを踏まえて洪水予警報システムの概略設計を実施するとともに、システムの運営・維持管理に必要な組織・管理体制の検討、事業費積算、プロジェクト評価、実施計画の策定を行い、最終報告書として取りまとめ、トルコ政府に説明・協議のうえ、コメントを踏まえて最終報告書を作成した。 | 公共事業省国家水利総局 | 日本工営(株) |

トルコ◎中近東

● 農林・水産分野 ●

開発調査事業

| プロジェクト名 | 概 要 | 相手国の調査団受入先 | 調査業務受注企業名 |
|-----------------------|---|-------------|--------------------|
| クチュク・メンデレス川流域灌漑農業開発計画 | アナトリア西部イズミール州にあるクチュク・メンデレス川流域の約2万3000haの農地を対象とする灌漑開発基本計画(マスタープラン)を策定し、流域内のペーダー地区約1万3000haについて灌漑網計画策定を中心としたフィービリティ調査を実施する。1994年度は、事前調査を実施し、実施細則を締結するとともに、本格調査に着手し、進捗報告書(I)をトルコ政府に提出した。 | 公共事業省国家水利総局 | 日本工営(株) 日本技研(株) |

開発協力事業

| ◎ 投資融資審査等調査 | | | |
|---------------|---------------------------|----|--|
| プロジェクト名 | 調査期間 | 人数 | 内 容 |
| 花卉高品質種苗生産試験事業 | 94.11.30) 94.12.11 | 3 | イズミール地区で実施する試験事業について、今後の適正な事業運営に資するため、進捗状況を把握、経費の支出状況を調査し、運営管理を実施した。 |

| | | | |
|----------------------------------|---------|---|---|
| 半乾燥地域農業開発現地 実証調査・市場流通経営 調査 | 94.7.16 | 3 | トルコで実施している半乾燥地域農業開発現地実証調査 に関し、トルコの野菜、果実、加工品などの輸出可能性の 探求、わが国企業の投資促進に資する財務資料を策定する ため、トルコ、ベルギー（EC本部）、ドイツ、イタリアを調 査対象地域として現地調査を実施した。 |
| | 94.8.21 | | |

◎ 専門家派遣

| プロジェクト名 | 派遣期間 | 人数 | 技術指導内容 |
|---------------------|-----------------|----|-------------|
| 半乾燥地域農業開発現地 実証調査 | 91.4.1~95.10.1 | 1 | 野菜 |
| | 91.5.20~94.5.19 | 1 | 畑作 |
| | 92.9.21~95.9.20 | 1 | リーダー |
| | 93.3.30~95.10.1 | 1 | 業務調整 |
| | 93.5.18~95.10.1 | 1 | 果樹 |
| | 94.3.16~94.4.13 | 1 | 機械化作業体系(野菜) |
| | 94.6.11~94.6.27 | 1 | 灌漑 |
| | 94.6.15~94.7.13 | 1 | 機械化作業体系(野菜) |
| | 94.8.25~94.9.22 | 1 | 灌漑 |
| | 94.9.29~95.9.28 | 1 | 灌漑 |

◎ 研修員受入

| 研修コース名 (または研修科目名) | 研修期間 | 人数 | 関連プロジェクト名 |
|----------------------|------------------|----|-----------------|
| 農業一般 | 94.8.25~94.12.20 | 1 | 半乾燥地域農業開発現地実証調査 |
| 農業一般 | 94.9.8~94.12.20 | 1 | 半乾燥地域農業開発現地実証調査 |
| 農業一般 | 94.9.27~94.10.13 | 3 | 半乾燥地域農業開発現地実証調査 |
| 花卉園芸 | 94.4.6~94.8.24 | 1 | 花卉高品質種苗生産試験事業 |

● 鉱工業分野 ●

開発調査事業

| プロジェクト名 | 概要 | 相手国の調査団受入先 | 調査業務受注企業名 |
|--------------|---|------------|-----------|
| キューレ地域資源開発調査 | キューレ鉱山の鉱量拡大を図るため、アシキョイ、パキババの各既存鉱床の延長上において、ボーリング調査を実施し、鉱床の胚胎状況および品位を明らかにする。1994年度は、ボーリング調査を実施し、パキババ鉱床の南方延長と推定される塊状鉱床を捕捉した。 | 鉱業開発銀行 | 金属鉱業事業団 |

● エネルギー分野 ●

開発調査事業

| プロジェクト名 | 概 要 | 相手国の調査団受入先 | 調査業務受注企業名 |
|----------------|--|-----------------|-----------|
| キョブルバシ水力発電開発計画 | 黒海に注ぐフィルヨス川支流のデブレク川の、出力60MWの水力発電所建設の最適開発計画を策定する。1994年度は、フィージビリティ設計として、事業費用積算、事業実施行程の作成、経済、財務分析を行い、最終報告書を完成し、送付した。 | 公共事業省 国家水利総局 | 電源開発㈱ |
| エネルギー利用合理化計画 | トルコにおけるエネルギー利用の合理化を推進するために、以下の提言を行うための調査を実施する。 (1) 製造業におけるエネルギー利用の合理化に関する国家政策・プログラムについて提言を行う。 (2) 中小製造業において、現有する製造プロセスの変更を伴わない、エネルギー利用の合理化を図るための技術的改善手法の提言を行う。 1994年度は、予備調査を実施した。 | | |

トルコ◎中近東

● 保健医療分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

| プロジェクト名 期 間 | 各種チームの派遣 | | 人 数 ・ 経 費 実 績 | | | |
|--|----------|-------|----------------|--------------|---------------|----------|
| | 年度 | 形 態 | | 専門家派遣 (人) | カウンターパート受入(人) | 機材供与(千円) |
| 生物製剤品質管理 (当初R/D協力期間) 93.1.1~95.12.31 | 91 | 事前調査 | 93年度までの 累 計 | 13 | 5 | 198,897 |
| | 92 | 実施協議 | | | | |
| | 93 | 計画打合せ | 94年度 | 新規 | 8 | 4 |
| | 94 | 巡回指導 | | | | |

〈要請背景〉

トルコ政府は、国家保健医療政策のひとつに乳幼児死亡率の低下をあげ、1985年より予防接種の普及拡大計画を推進している。本計画の一環として、ワクチン、血清など生物製剤の品質管理を行っているレフィック・サイダム中央衛生研究所を強化すべく、品質管理技術の向上および機材整備を目的としたプロジェクト方式技術協力をわが国に要請した。

(要請内容)分野

- ① 国内生産および輸入の生物製剤の品質管理技術の確立
- ② 生物製剤品質管理の国家基準の設定

〈目標と期待される成果〉

EPI(予防接種普及計画)関連のワクチン完成品の検定がWHO基準(Requirements)に準拠して、世界の平均レベルで実施できるようにする。

〈協力活動内容〉

レフィック・サイダム中央衛生研究所で現在実施しているEPI関連6品目のワクチン完成品の品質

管理技術の向上のため、スタッフのトレーニング、関連機材の整備を中心に技術協力を実施している。

| | | | | | | | |
|--|----------------|-----------------------|----------------|----|---|---|--------|
| 人口教育促進(II) (当初R/D協力期間) 93.11.8~98.11.7 | 93 93 94 | 事前調査 実施協議 計画打合せ | 93年度までの 累 計 | | 5 | 2 | 12,922 |
| | | | 94年度 | 新規 | 4 | 3 | 33,877 |
| | | | | 継続 | 4 | 0 | |

〈要請背景〉

トルコ政府は、高い人口増加率(約2.5%)を低減させ、国家開発を推進するため、1960年代以降、種々の家族計画事業を実施しており、教育・広報活動のための教材・キャンペーン資料の作成などのコミュニケーションの拡充についてわが国に要請をした。

〈目標と期待される成果〉

フェーズIで実施した視聴覚教材を中心としたIEC(Information, Education & Communication: 情報教育)活動の成果を生かしフェーズIIとして、地域ニーズに基づくIEC活動モデルづくりを実施。ひいてはトルコ側による全国レベルでの拡大をめざし、人口教育普及活動の強化に寄与する。

〈協力活動内容〉

ブルサおよび東部トルコの2つのパイロットエリアにおいてIEC活動普及のモデルを確立するために以下の活動を行う。

- ①パイロットエリアにおける普及活動の実態調査およびニーズ調査
- ②地域ニーズにあった普及教材の開発
- ③普及活動従事者のIEC研修

ブルサでの本格的活動のための準備を開始。具体的には95年11月ごろ完成予定のブルサコミュニケーションセンターの機能、活動支援のための計画策定が当面の活動となる。

アラブ首長国連邦

| | | 1994年度 | 1993年度までの累計 |
|--|------------------|-------------|-------------|
| O D A 実績 | 無償資金協力 (億円) | 0 | 5.00 |
| | 技術協力 (億円) | 2.35 | 26.26 |
| | 政府貸付金等 (億円) | -0.17 | 0 |
| J I C A 技 術 協 力 実 績 | 技術協力経費 (億円) | 2.76 | 26.26 |
| | 研修員受入 (人) | 8(新規)+3(継続) | 126 |
| | 専門家派遣 (人) | 5(新規)+5(継続) | 117 |
| | 調査団派遣 (人) | 7(新規)+0(継続) | 199 |
| | 協力隊派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 単独機材供与 (100万円) | 0 | 0 |
| | 開発調査 (件) | 1 | 5 |
| | プロジェクト方式技術協力 (件) | 0 | 0 |

| | |
|--------|-------|
| 技術協力 | 2.35 |
| 政府貸付金等 | -0.17 |

わが国の対アラブ首長国連邦ODA(1994年暦年支出総額ベース、暫定値、単位：億円 政府貸付金等は供与額からその年の返済分を引いたもの)

● 農林・水産分野 ●

開発調査事業

| プロジェクト名 | 概 要 | 相手国の調査団受入先 | 調査業務受注企業名 |
|------------------------|---|------------|---|
| アルダイド地域農業地 下水資源開発計画 | アラブ首長国連邦政府の要請に基づき、北部地域の中央部農業地域に位置するアルダイド市周辺地域(850km ²)を対象とした地下水灌溉開発計画策定に関するマスタープラン調査を実施するものである。1994年度は、実施細則を締結するとともに本格調査に着手し、着手報告書まで作成した。 | 農業・漁業省 | ㈱三祐コンサルタンツ ㈱パシフィック・コンサルタンツ・インターナショナル |

アラブ首長国連邦／イエメン◎中近東

イエメン

| | | 1994年度 | 1993年度までの累計 |
|------------------|----------------|----------------|-------------|
| ODA実績 | 無償資金協力 (億円) | 20.79 | 284.96 |
| | 技術協力 (億円) | 3.75 | 55.00 |
| | 政府貸付金等 (億円) | -1.53 | 608.49 |
| JICA技術協力実績 | 技術協力経費 (億円) | 1.84 | 55.00 |
| | 研修員受入 (人) | 10(新規) + 8(継続) | 220 |
| | 専門家派遣 (人) | 0(新規) + 9(継続) | 124 |
| | 調査団派遣 (人) | 1(新規) + 3(継続) | 405 |
| | 協力隊派遣 (人) | 7(新規) + 20(継続) | 23 |
| | 単独機材供与 (100万円) | 0 | 192 |
| | 開発調査 (件) | 0 | 8 |
| プロジェクト方式技術協力 (件) | 1 | 1 | |

| | |
|--------|-------|
| 無償資金協力 | 20.79 |
| 技術協力 | 3.75 |
| 政府貸付金等 | -1.53 |

わが国の対イエメンODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円 政府貸付金等は供与額からその年の返済分を引いたもの)

● 保健医療分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

| プロジェクト名 期 間 | 各種チームの派遣 | | 人 数 ・ 経 費 実 績 | | | | |
|--|--|--------------|----------------|--------------|-------------------|----------|--------|
| | 年 度 | 形 態 | | 専門家派遣 (人) | カウンターパ ート受入(人) | 機材供与(千円) | |
| 結核対策(II) (当初日/日協力期間) 93.2.21~98.2.20 | 92 | 事前調査 実施協議 | 93年度までの 累 計 | | 7 | 4 | 31,075 |
| | | | 93 | 計画打合せ | 94年度 | 新規 | 0 |
| | | 継続 | | | 4 | 1 | |
| | <p><要請背景></p> <p>わが国は1983年から延べ9年間にわたり旧北イエメンにおいて結核対策プロジェクトを実施し、イエメンの結核対策全般および要員養成の協力を行い、中央から各県レベルまでの結核対策行政の基礎づくりは達成されつつある。しかし、依然として首都サナアの治癒率の低さおよび南部と北部の格差などの諸問題が残っており、旧南イエメンへの対策およびPHC(プライマリー・ヘルスケア)レベルでの展開を中心に結核対策全般および要員養成にかかわる技術協力を行うため、92年結核対策(フェーズII)プロジェクトの実施が要請された。</p> <p><目標と期待される成果></p> <p>国家結核コントロールシステムの組織面の改善。国立結核研究所および地方センターにおける予防、診断治療技術の開発、結核コントロールプログラム改善のための調査研究および治療成績の向上。特にオペレーション・リサーチ(OR)地区(アデンおよびタイズ)での上記目標の達成。</p> <p><協力活動内容></p> <p>(1) PHCネットワークを通じて結核対策システムの組織を改善する。</p> <p>(2) 結核対策における予防、診断、治療技術の改善を行う。特に国立結核研究所(NTI)、サブセンター、県結核対策担当官(GTC)および県保健局の公衆衛生局長と協力したモデル地域で重点的に実施する。</p> <p>(3) 結核対策を南部と東部のモデル地域に拡大する。また特定のモデル地域の郡レベルにまで普及させる。</p> | | | | | | |

● 人的資源分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|---|----------------|--------------------------|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 第1次高等教育機材整備 計画 | 教育庁高等教 育審議会 | ユニコ・イン ターナシヨナ ル(株) | | | | 95.3(本) | |
| 教育分野でも特に整備の立ち遅れの著しい高等教育分野、なかでも理工系高等教育の振興のため、ガ ザ地区で、大学1校、技術短期大学1校の計2校の理工系教育用機材の整備を行う。 | | | | | | | |

パレスチナ◎中近東

● 保健医療分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|--|-------------|---------------|----------|------------|------------|---------------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| ジェリコ病院建設計画 | 保健省 | (株)久米設計 | | | | 94.11(事) 95.3(本) | |
| 自治区であるジェリコ地区の人口増加に伴い、病院の建設と医療機材の整備を行う。 | | | | | | | |

アンゴラ

| | | 1994年度 | 1993年度までの累計 |
|------------|------------------|-------------|-------------|
| ODA実績 | 無償資金協力 (億円) | 0.05 | 13.45 |
| | 技術協力 (億円) | 0.07 | 0.23 |
| | 政府貸付金等 (億円) | 0 | 0 |
| | 技術協力経費 (億円) | 0.064 | 0.23 |
| JICA技術協力実績 | 研修員受入 (人) | 6(新規)+0(継続) | 13 |
| | 専門家派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 調査団派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 3 |
| | 協力隊派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 単独機材供与 (100万円) | 0 | 0 |
| | 開発調査 (件) | 0 | 0 |
| | プロジェクト方式技術協力 (件) | 0 | 0 |

| | |
|---------------------------|-------------------------|
| 無償資金協力 0.05 (41.7%) | 技術協力 0.07 (58.3%) |
|---------------------------|-------------------------|

わが国の対アンゴラODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

ベナン

| | | 1994年度 | 1993年度までの累計 |
|------------|------------------|--------------|-------------|
| ODA実績 | 無償資金協力 (億円) | 10.22 | 107.83 |
| | 技術協力 (億円) | 1.40 | 4.09 |
| | 政府貸付金等 (億円) | 0 | 0 |
| | 技術協力経費 (億円) | 1.82 | 4.09 |
| JICA技術協力実績 | 研修員受入 (人) | 15(新規)+2(継続) | 63 |
| | 専門家派遣 (人) | 1(新規)+0(継続) | 1 |
| | 調査団派遣 (人) | 28(新規)+0(継続) | 34 |
| | 協力隊派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 単独機材供与 (100万円) | 0 | 20 |
| | 開発調査 (件) | 0 | 0 |
| | プロジェクト方式技術協力 (件) | 0 | 0 |

| | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 無償資金協力 10.22% (88.0%) | 技術協力 1.40 (12.0%) |
|-----------------------------|-------------------------|

わが国の対ベナンODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|---|---------------|-----------------------------|----------|------------|------------|---------------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| コトヌ市雨水排水施設整備計画(詳細設計) | 環境・住宅・都市計画省 | (株)パシフィック・コンサルタンツ・インターナショナル | 94 | 0.51 | 95.1.18 | 94.7(本) 94.11(報) | |
| 首都コトヌでは急激な都市化に対してインフラ整備が立ち遅れ、特に雨期にはいたる所で雨水が氾濫するため、雨水排水施設の詳細設計を行う。 | | | | | | | |
| 村落給水計画 | エネルギー・鉱山・水資源省 | (株)三祐コンサルタンツ | 94 | 6.18 | 95.1.18 | 94.6(本) 94.11(報) | |
| 国内でも特に給水率が低く、ギニアウォームの感染率が高い南部4県を対象に井戸を建設する。「開発と女性」(WID)案件。 | | | | | | | |

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|--|---------------|--------------------------------|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 食糧増産援助 | 農村開発・協同組合省 | (株)日本国際協力システム | 94 | 2.50 | 95.4.12 | (資) | |
| ベナンの食糧の主生産地であるウエメ県およびズー県において、メイズやソルガム、米などを対象とする食糧増産計画が策定されているが、この計画の実施のための肥料、農業および農業機械の購入に必要な資金につき、供与する。 | | | | | | | |
| 第2次漁業用機材整備計画 | 農村開発・協同組合省漁業局 | オーバークシーズ・アグロフイシャリーズ・コンサルタンツ(株) | 94 | 3.82 | 95.4.12 | 94.12(本) | |
| 漁業生産の増大および漁業訓練を通じた人的資源の開発を図るため、魚具、漁場調査・実験船などを購入するとともに漁業訓練用プレハブを建設する。 | | | | | | | |

ボツワナ

| | | 1994年度 | 1993年度までの累計 |
|------------|------------------|--------------|-------------|
| ODA実績 | 無償資金協力 (億円) | 1.75 | 5.86 |
| | 技術協力 (億円) | 1.36 | 6.51 |
| | 政府貸付金等 (億円) | 0 | 85.61 |
| JICA技術協力実績 | 技術協力経費 (億円) | 1.46 | 6.51 |
| | 研修員受入 (人) | 12(新規)+1(継続) | 30 |
| | 専門家派遣 (人) | 1(新規)+0(継続) | 3 |
| | 調査団派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 42 |
| | 協力隊派遣 (人) | 13(新規)+9(継続) | 14 |
| | 単独機材供与 (100万円) | 0 | 4 |
| | 開発調査 (件) | 0 | 1 |
| | プロジェクト方式技術協力 (件) | 0 | 0 |

| | |
|---------------------------|-------------------------|
| 無償資金協力 1.75 (56.3%) | 技術協力 1.36 (43.8%) |
|---------------------------|-------------------------|

わが国の対ボツワナODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

ブルキナ・ファソ

| | | 1994年度 | 1993年度までの累計 |
|------------|------------------|--------------|-------------|
| ODA実績 | 無償資金協力 (億円) | 10.59 | 105.47 |
| | 技術協力 (億円) | 1.49 | 7.05 |
| | 政府貸付金等 (億円) | 0 | 0 |
| JICA技術協力実績 | 技術協力経費 (億円) | 1.00 | 7.05 |
| | 研修員受入 (人) | 12(新規)+6(継続) | 45 |
| | 専門家派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 1 |
| | 調査団派遣 (人) | 14(新規)+0(継続) | 59 |
| | 協力隊派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 単独機材供与 (100万円) | 0 | 58 |
| | 開発調査 (件) | 1 | 0 |
| | プロジェクト方式技術協力 (件) | 0 | 0 |

| | |
|----------------------------|-------------------------|
| 無償資金協力 10.59 (87.6%) | 技術協力 1.49 (12.4%) |
|----------------------------|-------------------------|

わが国の対ブルキナ・ファソODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|---|-------------|---------------|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 村落給水計画(フェーズII) | 水資源省 | (株)三祐コンサルタンツ | | | | 94.10(本) | |
| ブルキナ・ファソ南西部のボニ、ブグリバ両県の飲料水供給率を上げるため、ハンドポンプ付き深井戸建設および建設に必要な資機材の整備を行う。 | | | | | | | |

● 農林・水産分野 ●

開発調査事業

| プロジェクト名 | 概 要 | 相手国の調査 団受入先 | 調査業務 受注企業名 |
|------------------|---|----------------|---|
| ムウウン川上流域農業総合開発計画 | ブルキナ・ファソ西部のムウウン川上流域とスルー川流域の耕作可能地約4万1000haを対象として、雇用機会の創出と食糧増産を目的とした農業総合開発計画と、優先開発対象地区における灌漑農業開発計画を策定するものである。1994年度は、最終報告書をブルキナ・ファソ政府に提出した。 | 水資源省 | (株)パシフィック・コンサルタンツ・インターナショナル 内外エンジニアリング(株) 朝日航洋(株) |

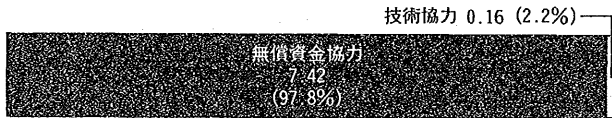
無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|--|--------------------|---------------|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 農業水利整備計画 | 水利省農業水利・溜池公社 | | 86 | 4.06 | | | 94.11 (F/U) |
| (1) 本体：灌漑用水・農業用水・家畜用水の確保と溜池建設に必要な機材を供与した。 (2) フォローアップ協力：プロジェクト要員の技術力向上およびスペアパーツの供与。 | | | | | | | |
| 食糧増産援助 | 農業・畜産省 農業資材機械化局 | (株)日本国際協力システム | 94 | 4.00 | 94.9.22 | (資) | |
| ブルキナ・ファソにおける米やトウモロコシなどの増産を図るため、必要な肥料・農薬、農業機械、輸送用車両の購入に必要な資金を供与する。 | | | | | | | |

ボツワナ／ブルキナ・ファソ◎アフリカ

ブルンディ

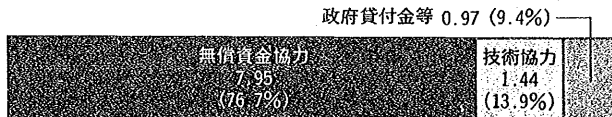
| | | 1994年度 | 1993年度までの累計 |
|------------|------------------|-------------|-------------|
| ODA実績 | 無償資金協力 (億円) | 7.42 | 116.16 |
| | 技術協力 (億円) | 0.16 | 6.88 |
| | 政府貸付金等 (億円) | 0 | 33.00 |
| | 技術協力経費 (億円) | 0.052 | 6.88 |
| JICA技術協力実績 | 研修員受入 (人) | 2(新規)+2(継続) | 64 |
| | 専門家派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 4 |
| | 調査団派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 60 |
| | 協力隊派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 12 |
| | 単独機材供与 (100万円) | 0 | 1 |
| | 開発調査 (件) | 0 | 0 |
| | プロジェクト方式技術協力 (件) | 0 | 0 |



わが国の対ブルンディODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

カメルーン

| | | 1994年度 | 1993年度までの累計 |
|------------|------------------|--------------|-------------|
| ODA実績 | 無償資金協力 (億円) | 7.95 | 62.12 |
| | 技術協力 (億円) | 1.44 | 13.27 |
| | 政府貸付金等 (億円) | 0.97 | 96.85 |
| | 技術協力経費 (億円) | 1.29 | 13.27 |
| JICA技術協力実績 | 研修員受入 (人) | 22(新規)+1(継続) | 90 |
| | 専門家派遣 (人) | 0(新規)+1(継続) | 18 |
| | 調査団派遣 (人) | 14(新規)+0(継続) | 128 |
| | 協力隊派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 単独機材供与 (100万円) | 0 | 15 |
| | 開発調査 (件) | 0 | 2 |
| | プロジェクト方式技術協力 (件) | 0 | 0 |



わが国の対カメルーンODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|---|-----------------|---------------|----------|------------|------------|--------------------------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 地方給水計画 | 鉱山・水・エ ネルギー省 | ㈱日本テクノ | 94 | 4.48 | 95.4.26 | 94.6(事) 94.10(本) 95.1(報) | |
| <p>カメルーンでは1994年の地方給水率が約45%で、飲料水を天水や溜まり水などに依存し、水因性疾患が蔓延している。そこで、給水施設をもたない10カ村の給水施設を建設するとともに、車両などを購入する。</p> | | | | | | | |

カーボ・ヴェルデ

| | | 1994年度 | 1993年度までの累計 |
|------------------------|--------------|-----------------|-------------|
| ODA 実績 | 無償資金協力 | (億円) 2.62 | 62.24 |
| | 技術協力 | (億円) 0.40 | 6.52 |
| | 政府貸付金等 | (億円) 0 | 0 |
| | 技術協力経費 | (億円) 0.26 | 6.52 |
| JICA 技術 協力 実績 | 研修員受入 | (人) 6(新規)+0(継続) | 24 |
| | 専門家派遣 | (人) 0(新規)+1(継続) | 5 |
| | 調査団派遣 | (人) 0(新規)+0(継続) | 64 |
| | 協力隊派遣 | (人) 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 単独機材供与 | (100万円) 0 | 22 |
| | 開発調査 | (件) 0 | 0 |
| | プロジェクト方式技術協力 | (件) 0 | 0 |

無償資金協力

2.62

(85.8%)

技術協力

0.40

(13.2%)

わが国の対カーボ・ヴェルデODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

ブルンディ/カメルーン/カーボ・ヴェルデ/アフリカ

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|--|--------------------------|-----------------|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 食糧増産援助 | 農業・農村開 発・水産省農 林畜産局 | ㈱日本国際協 力システム | 94 | 1.50 | 94.22 | (資) | 94.8(実) |
| 特に第3次国家開発計画(1991~95)で開発優先地域に指定されているサンティアゴ、フォゴ、サント アントン、サンニコラウの4島を優先する計画である。 | | | | | | | |

中央アフリカ

| | | 1994年度 | 1993年度までの累計 |
|--|------------------|--------------|-------------|
| O D A 実 績 | 無償資金協力 (億円) | 9.1 | 167.73 |
| | 技術協力 (億円) | 1.55 | 9.66 |
| | 政府貸付金等 (億円) | 0 | 6.00 |
| | 技術協力経費 (億円) | 1.78 | 9.66 |
| J I C A 技 術 協 力 実 績 | 研修員受入 (人) | 13(新規)+2(継続) | 91 |
| | 専門家派遣 (人) | 0(新規)+2(継続) | 9 |
| | 調査団派遣 (人) | 14(新規)+0(継続) | 54 |
| | 協力隊派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 単独機材供与 (100万円) | 0 | 53 |
| | 開発調査 (件) | 0 | 0 |
| | プロジェクト方式技術協力 (件) | 0 | 0 |

| | |
|--------------------------|-------------------------|
| 無償資金協力 9.1 (85.4%) | 技術協力 1.55 (14.6%) |
|--------------------------|-------------------------|

わが国の対中央アフリカODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|--|------------------------|--------------------|----------|------------|------------|--------------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 西部地下水開発計画 | エネルギー・ 鉱山地質・水 利省 | 日本技術開発 (株) | 94 | 4.27 | 94.8.19 | | |
| <p>中央アフリカでは人口の63.5%を抱える農村部で給水施設が普及していないため、衛生的な生活用水の安定供給を目的としてオンベラ・ンボコ県で120本の井戸掘削および関連資機材の供与を行う。</p> | | | | | | | |
| 3号国道舗装計画 | 公共事業省 | (株)建設企画コ ンサルタント | 94 | 21.90 | 94.11.9 | 94.5(本) 94.8(報) | |
| <p>内陸の開発途上国である中央アフリカでは、国外との輸送手段が、空路を除けばカメルーンとの国道3号線とウバンギ川の河川航路の2つに限られている。河川航路は輸送に長時間を要し、乾期には水位が下がって輸送が困難になるため、国道3号線を舗装し、輸送力の増強を図る。</p> | | | | | | | |

中央アフリカ
アフリカ

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|--|-----------------|-------------------|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 食糧増産援助 | 農村開発省農 業開発公社 | (株)日本国際協 力システム | 94 | 3.00 | 94.9.12 | (資) | |
| <p>コーヒー、キャッサバおよびソルガムの栽培などを主とする農業部門を基幹産業とする中央アフリカの農業増産計画実施に必要な農薬、農機、車両の購入に必要な資金を供与する。</p> | | | | | | | |

チャート

| | | 1994年度 | 1993年度までの累計 |
|------------|------------------|-------------|-------------|
| ODA実績 | 無償資金協力 (億円) | 0 | 0 |
| | 技術協力 (億円) | 0.17 | 0.32 |
| | 政府貸付金等 (億円) | 0 | 0 |
| JICA技術協力実績 | 技術協力経費 (億円) | 0.19 | 0.32 |
| | 研修員受入 (人) | 9(新規)+1(継続) | 19 |
| | 専門家派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 調査団派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 協力隊派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 単独機材供与 (100万円) | 0 | 0 |
| | 開発調査 (件) | 0 | 0 |
| | プロジェクト方式技術協力 (件) | 0 | 0 |

技術協力
0.17
(100%)

わが国の対チャートODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

コモロ

| | | 1994年度 | 1993年度までの累計 |
|------------|------------------|-------------|-------------|
| ODA実績 | 無償資金協力 (億円) | 1.25 | 48.40 |
| | 技術協力 (億円) | 0.43 | 5.67 |
| | 政府貸付金等 (億円) | 0 | 0 |
| JICA技術協力実績 | 技術協力経費 (億円) | 0.39 | 5.67 |
| | 研修員受入 (人) | 5(新規)+2(継続) | 42 |
| | 専門家派遣 (人) | 1(新規)+1(継続) | 11 |
| | 調査団派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 22 |
| | 協力隊派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 単独機材供与 (100万円) | 0 | 15 |
| | 開発調査 (件) | 0 | 0 |
| | プロジェクト方式技術協力 (件) | 0 | 0 |

| | |
|---------------------------|-------------------------|
| 無償資金協力 1.25 (74.4%) | 技術協力 0.43 (25.6%) |
|---------------------------|-------------------------|

わが国の対コモロODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|---|--------------------------|---------------|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 食糧増産援助 | 農業生産・工業・手工業省 農業開発センター | ㈱日本国際協力システム | 94 | 1.00 | 94.9.9 | (資) | 94.10(実) |
| <p>食糧増産援助計画：火山国であるため、コモロの耕作地はきわめて限られており、また、養分が流出しやすい火山性土壌のため、農業生産性はきわめて低い。 本計画は、農業を投入することにより病虫害を防除し、単位面積当たりの食糧生産の向上をめざすものである。</p> | | | | | | | |

コンゴ

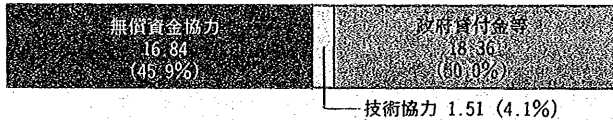
| | | 1994年度 | 1993年度までの累計 |
|--------------|--------|-----------------|-------------|
| ODA実績 | 無償資金協力 | (億円) 0 | 11.32 |
| | 技術協力 | (億円) 0.31 | 1.44 |
| | 政府貸付金等 | (億円) 0 | 0 |
| JICA技術協力実績 | 技術協力経費 | (億円) 0.12 | 1.44 |
| | 研修員受入 | (人) 7(新規)+0(継続) | 33 |
| | 専門家派遣 | (人) 0(新規)+0(継続) | 3 |
| | 調査団派遣 | (人) 0(新規)+0(継続) | 17 |
| | 協力隊派遣 | (人) 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 単独機材供与 | (100万円) 0 | 0 |
| | 開発調査 | (件) 0 | 0 |
| プロジェクト方式技術協力 | | (件) 0 | 0 |

技術協力
0.31
(100%)

わが国の対コンゴODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

チャード/コモロ/コンゴ/コンゴ/アフリカ

| | | 1994年度 | 1993年度までの累計 |
|------------|------------------|-------------|-------------|
| ODA実績 | 無償資金協力 (億円) | 16.84 | 74.59 |
| | 技術協力 (億円) | 1.51 | 5.17 |
| | 政府貸付金等 (億円) | 18.36 | 0 |
| | 技術協力経費 (億円) | 0.33 | 5.17 |
| JICA技術協力実績 | 研修員受入 (人) | 7(新規)+0(継続) | 35 |
| | 専門家派遣 (人) | 3(新規)+0(継続) | 0 |
| | 調査団派遣 (人) | 2(新規)+0(継続) | 86 |
| | 協力隊派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 単独機材供与 (100万円) | 0 | 10 |
| | 開発調査 (件) | 0 | 0 |
| | プロジェクト方式技術協力 (件) | 0 | 0 |



わが国へのジブティODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|--|-------------|---|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 港湾施設整備計画 | ジブティ港湾 庁 | (株)パシフィック・ コンサル タンツ・イン ターナシヨナル | 94 | 13.99 | 94.8.2 | | |
| <p>ジブティの経済基盤を支えるジブティ港は、スエズ運河を経て地中海に通じる航路上の補給基地、中継貿易拠点として重要な役割を果たしているが、それらの施設のうち老朽化が著しい11バースの改修などを行う。</p> | | | | | | | |

● 人的資源分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|---|----------------|----------------|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 中学校校舎建設計画 | 教育省教育プロジェクト実施局 | (株)マツダ・コンサルタンツ | 94 | 5.48 | 94.8.2 | | |
| <p>ジブティでは就学率、識字率とも低迷しているため、人口が急増しているバルバラ地区に中学校1校を建設することとし、1994年度は管理棟、体育館の建設などを行う。</p> | | | | | | | |

赤道ギニア

ジブティ/赤道ギニア/アフリカ

| | | 1994年度 | 1993年度までの累計 |
|------------|--------------|-----------------|-------------|
| ODA実績 | 無償資金協力 | (億円) 1.00 | 11.68 |
| | 技術協力 | (億円) 0.35 | 1.04 |
| | 政府貸付金等 | (億円) 0 | 0 |
| | 技術協力経費 | (億円) 0.59 | 1.04 |
| JICA技術協力実績 | 研修員受入 | (人) 5(新規)+1(継続) | 21 |
| | 専門家派遣 | (人) 0(新規)+1(継続) | 1 |
| | 調査団派遣 | (人) 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 協力隊派遣 | (人) 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 単独機材供与 | (100万円) 22.45 | 0 |
| | 開発調査 | (件) 0 | 0 |
| | プロジェクト方式技術協力 | (件) 0 | 0 |

| | |
|---------------------------|-------------------------|
| 無償資金協力 1.00 (74.2%) | 技術協力 0.35 (25.8%) |
|---------------------------|-------------------------|

わが国の対赤道ギニアODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

● 農林・水産分野 ●

機材供与事業

| 案件名 | 数量 | 経費(千円) (支出済み額) | 供与先 | 供与形態 | 関連事業 |
|--------------|----|-------------------|------------|--------|-------|
| 小規模漁業振興開発用機材 | 一式 | 22,454 | 畜産農業省漁業総本部 | 一般単独機材 | 専門家派遣 |

エリトリア

| | | 1994年度 | 1993年度までの累計 |
|------------|------------------|-------------|-------------|
| ODA実績 | 無償資金協力 (億円) | 0 | 1.00 |
| | 技術協力 (億円) | 0.06 | 0.02 |
| | 政府貸付金等 (億円) | 0 | 0 |
| | 技術協力経費 (億円) | 0.18 | 0.02 |
| JICA技術協力実績 | 研修員受入 (人) | 5(新規)+0(継続) | 1 |
| | 専門家派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 調査団派遣 (人) | 7(新規)+0(継続) | 0 |
| | 協力隊派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 単独機材供与 (100万円) | 0 | 0 |
| | 開発調査 (件) | 0 | 0 |
| | プロジェクト方式技術協力 (件) | 0 | 0 |

技術協力
0.06
(100%)

わが国の対エリトリアODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

エチオピア

| | | 1994年度 | 1993年度までの累計 |
|------------|------------------|---------------|-------------|
| ODA実績 | 無償資金協力 (億円) | 39.73 | 246.83 |
| | 技術協力 (億円) | 5.21 | 55.11 |
| | 政府貸付金等 (億円) | -0.56 | 37.00 |
| | 技術協力経費 (億円) | 7.49 | 55.11 |
| JICA技術協力実績 | 研修員受入 (人) | 46(新規)+5(継続) | 558 |
| | 専門家派遣 (人) | 5(新規)+3(継続) | 127 |
| | 調査団派遣 (人) | 30(新規)+5(継続) | 175 |
| | 協力隊派遣 (人) | 17(新規)+24(継続) | 239 |
| | 単独機材供与 (100万円) | 64.52 | 160 |
| | 開発調査 (件) | 2 | 7 |
| | プロジェクト方式技術協力 (件) | 0 | 2 |

無償資金協力 39.73
技術協力 5.21
政府貸付金等 -0.56

わが国の対エチオピアODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円 政府貸付金等は供与額からその年の返済分を引いたもの)

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

| プロジェクト名 | 概要 | 相手国の調査団受入先 | 調査業務受注企業名 |
|------------------|--|------------|------------------------------|
| 11地方都市水供給・衛生改善計画 | エチオピア北部に位置する11地方都市に関する衛生状態の改善のために、地下水を水源とする水供給計画および衛生改善計画を策定することを目的とする。1994年度は、本格調査を開始し、3都市について現地踏査、実態調査などを行った結果を進捗報告書にまとめ、エチオピアに説明した。 | 上下水道庁 | (株)三祐コンサルタンツ (株)協和コンサルタンツ |

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国実施機関 | 調査業務受注企業名 | 供与年度 | 金額(億円) | E/N署名日 | JICA実施業務 | |
|--|---------|---------------|------|--------|---------|-------------|--------------|
| | | | | | | 基本設計・資機材等調査 | 実施促進・フォローアップ |
| アデイスアベバ市道路機材整備計画 | 対外経済協力省 | (株)日本国際協力システム | 94 | 9.78 | 95.3.20 | | |
| <p>アデイスアベバ市では近年人口増加が激しく、周辺部を含めると約250万人の人口を抱えている反面、道路建設機材のほとんどが耐用年数を超えており、道路整備事業がなかなか進まないため、市内舗装道路の補修と側溝の整備に必要な道路建設機材を購入する。</p> | | | | | | | |

エリトリア/エチオピア@アフリカ

● 農林・水産分野 ●

開発調査事業

| プロジェクト名 | 概要 | 相手国の調査団受入先 | 調査業務受注企業名 |
|--------------|---|-----------------|-----------|
| ベッチョ平原農業開発計画 | 首都アデイスアベバの南西40kmに広がるベッチョ平原の排水不良問題を検討し、排水計画および農業開発計画に関するフィージビリティ調査を実施する。1994年度は、本格調査を開始し、進捗報告書(I)を作成、エチオピア政府に提出した。 | オロミア地域天然資源環境保護局 | 日本工営(株) |

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|--|--|---|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 食糧増産援助 | 農業省 国営農場・コ ーヒー・茶開 発省農業研究 所 | (株)日本国際協 カシステム | 94 | 8.50 | 94.9.30 | (資) | 94.9(実) |
| <p>病虫害の防除のための農業散布、肥料および農業機械の投入により、単位面積当たりの収穫の増大を図る。</p> | | | | | | | |
| 小規模灌漑開発用機材整 備計画 | 農業省灌漑開 発局 | (株)パシフィッ ク・コンサル タンツ・イン ターナショナ ル | 94 | 7.05 | 94.9.7 | | |
| <p>現在、零細農民を対象に実施している「小規模灌漑開発計画」による灌漑面積は、約17万haにすぎない。そこで灌漑開発用の建設機材を購入し、食糧の安定供給と零細農民の生活水準の向上を図る。</p> | | | | | | | |

● 商業・観光分野 ●

機材供与事業

| 案 件 名 | 数量 | 経費(千円) (支出済み額) | 供 与 先 | 供与形態 | 関連事業 |
|-------------|----|-------------------|------------------------|--------|------|
| 地域開発職業訓練用機材 | 一式 | 64,519 | エティオピア観光商業公社 (ETTE) | 一般単独機材 | 協力隊 |

カボン

| | | 1994年度 | 1993年度までの累計 |
|------------|------------------|-------------|-------------|
| ODA実績 | 無償資金協力 (億円) | 0 | 2.01 |
| | 技術協力 (億円) | 0.24 | 4.73 |
| | 政府貸付金等 (億円) | 0 | 42.42 |
| | 技術協力経費 (億円) | 0.25 | 4.73 |
| JICA技術協力実績 | 研修員受入 (人) | 9(新規)+0(継続) | 69 |
| | 専門家派遣 (人) | 1(新規)+0(継続) | 1 |
| | 調査団派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 11 |
| | 協力隊派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 単独機材供与 (100万円) | 0 | 108 |
| | 開発調査 (件) | 0 | 1 |
| | プロジェクト方式技術協力 (件) | 0 | 0 |

技術協力
0.24
(100%)

わが国の対カボンODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

カンビア

| | | 1994年度 | 1993年度までの累計 |
|------------|------------------|-------------|-------------|
| ODA実績 | 無償資金協力 (億円) | 10.59 | 79.65 |
| | 技術協力 (億円) | 0.78 | 7.91 |
| | 政府貸付金等 (億円) | 0 | 0 |
| | 技術協力経費 (億円) | 0.37 | 7.91 |
| JICA技術協力実績 | 研修員受入 (人) | 1(新規)+1(継続) | 66 |
| | 専門家派遣 (人) | 0(新規)+2(継続) | 5 |
| | 調査団派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 53 |
| | 協力隊派遣 (人) | 0(新規)+0(継続) | 0 |
| | 単独機材供与 (100万円) | 0 | 75 |
| | 開発調査 (件) | 0 | 0 |
| | プロジェクト方式技術協力 (件) | 0 | 0 |

技術協力 0.78 (6.8%)

無償資金協力
10.59
(93.2%)

わが国の対カンビアODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)